ま　え　が　き

昨年11月に、国立登山研修所創立50周年記念式典を挙行し、併せて記念誌「国立登山研修所50年の歩み」を発刊しました。多くの皆様のご協力、ご支援を賜り50周年記念事業を無事終了できましたことに厚くお礼を申し上げます。

この「登山研修」は、昭和60年（1985）に第１号を刊行して以来、毎年編集・発行しているもので本号が第33号となります。今回は、登山技術に関する調査研究や登山医学・雪氷学の調査研究、海外登山記録などに加え、登山研修所が創立50周年という節目の年を迎えたことから「登山界の現状と課題」、「登山研修所～これからの課題と展望～」にも重点をおいた編集といたしました。20年前の平成９年に発行した第13号にも、文部省登山研修所創立30周年記念特集として今回と同様のテーマについて執筆いただいています。この20年間で登山界や登山研修所に係わる課題や展望がどのように変化してきたのかなどについても読み比べていただければ幸いです。

平成29年３月27日に栃木県那須町において高等学校の生徒７名と引率教員１名が亡くなるという痛ましい雪崩事故が発生しました。このような事故の教訓を社会で共有し風化させないために、本号では、高等学校登山部の活動に関する原稿もいただきました。これらが登山界の未来を担う若人を守る一助になることを願っております。

末筆になりましたが、ご多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成30年３月

国立登山研修所長　宮　﨑　　豊